

平成29年度 事務事業マネジメントシート

事業名	送迎保育ステーション事業			会計	款	項	目	大	小
				01	03	02	01	05	52
政策	O4	4節	誰もが充実した生涯をおくることのできる流山（市民福祉の充実）	主管課	保育課				
施策	4-1	安心して子どもが健やかに生まれ育つ環境づくり		主管課長	浅水 透				

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	市内保育所に入所を希望している児童と保護者	意図	待機児童の解消を図ることで、保護者の就労等を支援する。
事業内容	おおたかの森駅前及び南流山駅前に送迎保育ステーションを設置し、バスで市内全域の保育所へ児童を送迎することにより、待機児童の解消を図る。			
事業開始から現在までの状況変化	待機児童解消の一つの手段として、平成19年度に流山おおたかの森駅、平成20年度に南流山駅で事業を開始し、現在、流山おおたかの森でバス6台、南流山でバス2台の合わせて8台で事業展開を繰り返している。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成27年度	平成28年度	平成29年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）	
	①	待機児童数	49	146	92	人	↓↓↓	
②	延べ利用数	38,093	38,019	46,976	人	→→		
③								
④								
⑤								
⑥								
指標で表すことができない定性的な成果						目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） 流山おおたかの森駅及び南流山駅周辺に、新設の私立保育園を整備したこと等により、待機児童数が減少したが、今後は駅周辺に保育所を整備することは難しくなるため、待機児童数が増えると予想される。		
事務事業のコスト		平成27年度	平成28年度	平成29年度				
事務事業の総コスト(a=b+c)		78,142,000	75,410,904	80,395,700				
事業費(b)(円)		76,841,000	74,164,904	79,165,000				
うち一般財源		56,822,000	53,981,904	58,982,000				
職員給与と費(c)(円)		1,301,000	1,246,000	1,230,700				
人役・職員(人)		0.10	0.10	0.10				
人役・再任用(人)								
人役・臨職(人)		0.50	0.50	0.50				
人役・嘱託(人)								
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）								
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）								

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	I 拡 充 （事業を拡大して継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H29)の改善計画	安全管理は勿論のこと、保育の質の向上を図る。	③取組の課題	利用者数は今後も増加が見込まれる。利用者の増加に伴い、安全な移送・保育が必要である。
②今年度(H29)に実施した取組	・安全対策（車の点検、運転士の研修及び安全運転講習受講等）を継続した。 ・送迎バス内での園児の活動を行い、保育の質の向上に努めた。	④今後(H30以降)の改善計画	・利用者数の動向を見ながら、今後の事業計画を検討する。 ・安全管理と保育の質の向上を図る。